



九条みなみそうま

「みなみそうま九条の会」会報 No.434

(旧・はらまち九条の会) 福島県南相馬市

2026(令和8)年 7月 7日(火)発行



盧溝橋

●1937(昭和12)年7月7日は日中戦争の発端「盧溝橋事件」の日。中国の北京郊外の盧溝橋付近で、7月7日午後10時半ころ演習中の日本軍が発砲を受けて日本兵1名が行方不明となる(実はこの兵士は隊を離れただけ)。そして事態は拡大し、4時間後の8日明け方に牟田口むだぐち連隊長の「断固戦え」の命令で本格的な日中戦争に突入する。

秋になって10月3日の行事ですが...

《福島大学環境放射能研究所の研究発表の学習会》

原発事故被災地の放射能の現状は

○日時：10月 3日(土) 午後1時～3時

○会場：南相馬市小高区 鈴木家住宅

○共催：みなみそうま九条の会・鈴木安蔵を講える会



あの東京電力福島第一原発の過酷事故から15年。事故直後はどなたも放射能の汚染に非常に敏感でしたが、現在はすっかり忘れたかのようです。大震災当日の3月11日午後7時3分に発令された「原子力緊急事態宣言」はいまだ解除されず、その中で原発は再稼働されます。

一体、私たちの周囲の放射能は現在どんな状況なのか、住宅地、田畑、山林、河川、海や、そこに棲む生物、勿論人体への影響はどうか。原発事故直後からさまざまな場所で測定し研究を積み重ねてこられた、福島大学難波謙二教授が中心の環境放射能研究所の方々からお話を伺うことにしました。日本国憲法で人権保障を強く訴えた鈴木安蔵先生の住宅での開催ですから、大変意義深い学習会と思われます。お気軽にご出席ください。



▲石碑は縦94cm、横2m45cm、重さ2.3トンの花崗岩。表の面には「憲法九条はみんなの宝! 九条の全文」、裏面には「平和の誓いをかたちに」の決意が刻まれています。



県内初の「九条の碑」が福島市に建立 全国83番目 福島市渡利の瑞龍寺に

憲法記念日の5月3日、福島県では初めての「憲法九条の碑」が福島市渡利、花見山近くの瑞龍寺・山門脇に建立されました。

除幕式は3日午前10時から約150名の出席で行われ、建立の中心になった県九条の会代表今野順夫さんは「昨年3月古殿町の岡部淳一さんから石材寄贈の申し出があり、建立の会を組織し募金活動も順調でした。憲法9条を次世代に引き継ぎ、この碑が輝き続けることを祈ります」と挨拶。瑞龍寺住職の挨拶後に除幕。さらにジャーナリスト伊藤千尋さんも九条の碑についてのミニ講演を行い、式の終わりに瑞龍寺さんと岡部淳一さんに感謝状が贈呈されました。

◀この瑞龍寺には、終戦間近の1945年7月20日午前8時23分、福島市渡利に投下された「模擬原子爆弾」(少年1名が爆死)の破片(重さ約15キロ)が保管陳列されています。「模擬爆弾」は米飛行兵の原爆投下の訓練のため、全国各地49カ所に投下、死者400人超、福島県では福島・いわき・郡山市に投下され、死者は43人超でした。

○6月6日（土）午後1時から、小高区の鈴木安蔵住宅で、「鈴木家住宅の見学と、改憲についての勉強会」が、「みなみそうま九条の会」「鈴木安蔵を讃える会」の共催で開催されました。○参加者は少数でも見学会は楽しく、勉強会では率直な意見が出されました。

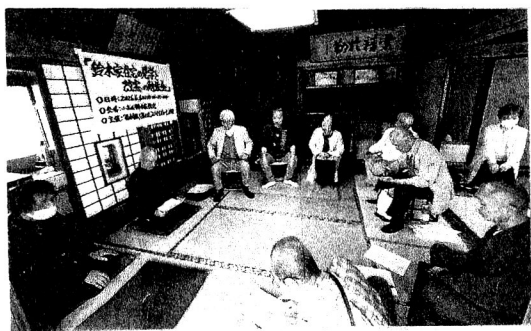
《国登録有形文化財鈴木家住宅を見学》

①大正後期の商家で、間口が狭く奥深く、接客のために趣向を凝らした「庭」はツツジが見頃でした。

②明治39年に俳人河東碧梧桐が鈴木家の遺族を見舞い、その時書いた「短冊」を鑑賞。③居間の広田

ピアノに注目。④安蔵の勉強部屋があった大きな土蔵は3.11の大震災で倒壊。⑤鬼瓦の鈴木家家紋

「梅鉢」や、瓦と銅葺きの屋根を見上げる。⑥屋根に守られた「氏神様」、五葉の松も見事です。⑦住宅の南隣、浄国寺内の「鈴木家の代々の墓」（震災後に南手の吉名から移墓）に皆さんで合掌しました。



《憲法や改憲についての勉強会では》

事務局長すぎた和人さんの司会。仙台市、飯舘村、相馬市などからの参加者で、活発な意見交換会でした。

Fさん 長い間の反原発の運動をしてきた志賀勝明さんに感動し、会ってお話を聞きたいと仙台から参加しました。

Sさん 南相馬市の郷土史を研究しています。一般人が知らないうちに9条が改憲されようとしている気がします。私たちはもっと憲法を学習しないといけませんね。

Aさん 辺野古の事故での文科省の教育基本法違反の判断はおかしいと思う。またサンケイや読売新聞は政府を批判せず、ちょっと読んでみるとどんなバカなことを言っているか分ります。

Gさん 鈴木安蔵を知れば知るほど、改憲をめざす現政権は無責任です。私は9条以上に憲法12条の「自由や権利は国民の不断の努力で保持しなければならない」が大事だと思っています。

Hさん 楡葉町宝鏡寺の早川篤雄和尚のお話に感動、4年半前飯舘村に移住し骨を埋めるつもりです。私は現在の憲法を守っていくべきだと思いますが、加憲論者です。時代のニーズに合わせ、どんな人でも大学進学ができるような教育権の付加条項を憲法に設けても良いと思います。

Oさん 70歳まで鈴木安蔵を知りませんでした。金子勝先生の本を読んで、あの時代に憲法草案を作りすごいと思いました。戦後80年間日本に戦争がなかったのは憲法のおかげですし、またどうして21世紀の今まだ戦争をしているなんて。9条は変えてはいけないと思います。

Bさん 先日の渡辺治先生の講演で「9条に自衛隊を明記すれば自衛隊は堂々と合憲の軍隊となり、災害救助より戦闘が優先され、徴用は合憲化され徴兵制も違憲ではなく現実のものとなる。戦前のような軍事特別裁判所も容認となります」と話された。9条改憲は絶対阻止したい。

Uさん 小学6年の男孫が学校で憲法を学び、家に帰ってきて娘に「ママ、僕ら戦争にいかなくちゃいけないの」と聞いたそうです。30代の男の先生がどういうふうに憲法を説明したのか。

Mさん 89歳で花づくりをしていますが、憲法は守らなくちゃ、平和条項を崩させてはいけないと、行動力はままならないが、道路脇の掲示板に「改憲の流れを止めよう」と貼り出しています。

Kさん 第二次大戦後大国は戦争をしないように努めてきたのに、現在はロシアのウクライナ侵攻をはじめ紛争が各地で起こり、私は戦時下のウクライナを訪問して実状を見てきています。

Iさん 1960年に教員になりましたが、当時の生徒の教科書には鈴木安蔵が出てきませんでした。安蔵については小高の佐藤鶴雄さんから学びました。会の活動で役に立ちたいと思っています。

Tさん 小高に来て佐藤鶴雄さんから鈴木安蔵の話を教えていただき、しっかり勉強して世の中を変えろと言われているようです。戦争や原発事故を二度と繰り返さないように発信する役割があると思っています。改憲派は結局それでお金もうけがしたいんですね。これから白河市の憲法学者鈴木義男について皆さんとともに学びたいし、白河市を訪ねてみたいですね。